**「啐啄」　　　　　　　　　6月号**

**「小さいことを重ねることが、とんでもない所に行くただひとつの道」****Major League Baseballマーリンズ、イチローの言葉** **から**

**校長　今井　弘樹**

第2号の冒頭にあたりまして、先ずもって、5月に本校で発生しました個人情報掲載書類の紛失・誤廃棄につきまして、保護者、地域関係者の皆様に、多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことについて、深く反省しお詫び申し上げます。今後、信用・信頼回復のために教職員一同、一層努力していきたいと考えております。

去る五月十八日から春季総合体育大会が開催されました。団体戦ではボート部が男女とも県総合二位、サッカー部が三回戦進出と、例年より多くの生徒が二日目の熱戦に挑みました。種目別では、ボート舵手付クォドルプル優勝、陸上百メートル男子二位の他、健闘してくれました。結果は必ず出るわけですが、大会までに、それぞれの立場で汗を流し取組んできた生徒たちにエールを送りたいと思います。

次は夏季の大会やコンクールです。三年生にとっては最後の大会になり、一二年生にとっては先輩と共に戦う大会です。目標を目指して、耐えて練習し、つらい時期を乗り越え、生徒一人ひとりが成就感・達成感を味わい、「やりがい」や「できた」という自信を得てほしいと思っています。

生徒が本物の感動や自信を獲得してくれる為に、**Major League Baseball マーリンズ**のイチロー選手の**「小さいことを重ねることが、とんでもない所に行くただひとつの道」**という言葉を紹介したいと思います。

イチロー選手は、**心に決めた目標に向かって、**高校時代の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしたといいます。1日なら誰にでもできることを徹底して毎日やり続けるというのが、イチロー選手の非凡さの現れです。地道な練習の繰り返しが、世界でも一流の選手を生んだのです。まさに、「継続は力なり」です。

大人がそうであるように中学生も、目標をもち、**心に決めた目標に向けて進もうとする持ち＝決意**を定めることで、**生活の仕方や生き方が整ってきます。**気持ちが高まり、自分の立ち位置が決まってくると、生活態度が学習にも部活動にもつながり、「あいさつの励行、服装を正す、時間を守る」など、生徒の行動、表情、そして、雰囲気にも表れてきます。

学校生活には、勉強やスポーツ、いろいろな体験活動など、様々な場面があります。目標を定め、目標達成のための計画や実行方法を考え、ワンステップずつ達成していく。生徒たちが、こうした経験を中学校生活での一つひとつ積み上げることで、**校訓**である自分を自分で指導できる**「自律」 (自己指導力)** の力をつけてくれると思っています。